

資料編

「第3期加西市地域福祉計画」策定における市民アンケート調査結果

令和元年10月～11月、市民2,000人を対象に実施されたアンケート調査の結果から、地域の中でのくらしや地域活動・ボランティア活動、災害対策等を把握できることができ、第7次推進計画を策定する基礎資料となりました。(調査結果一部抜粋・設問ごとに分析)

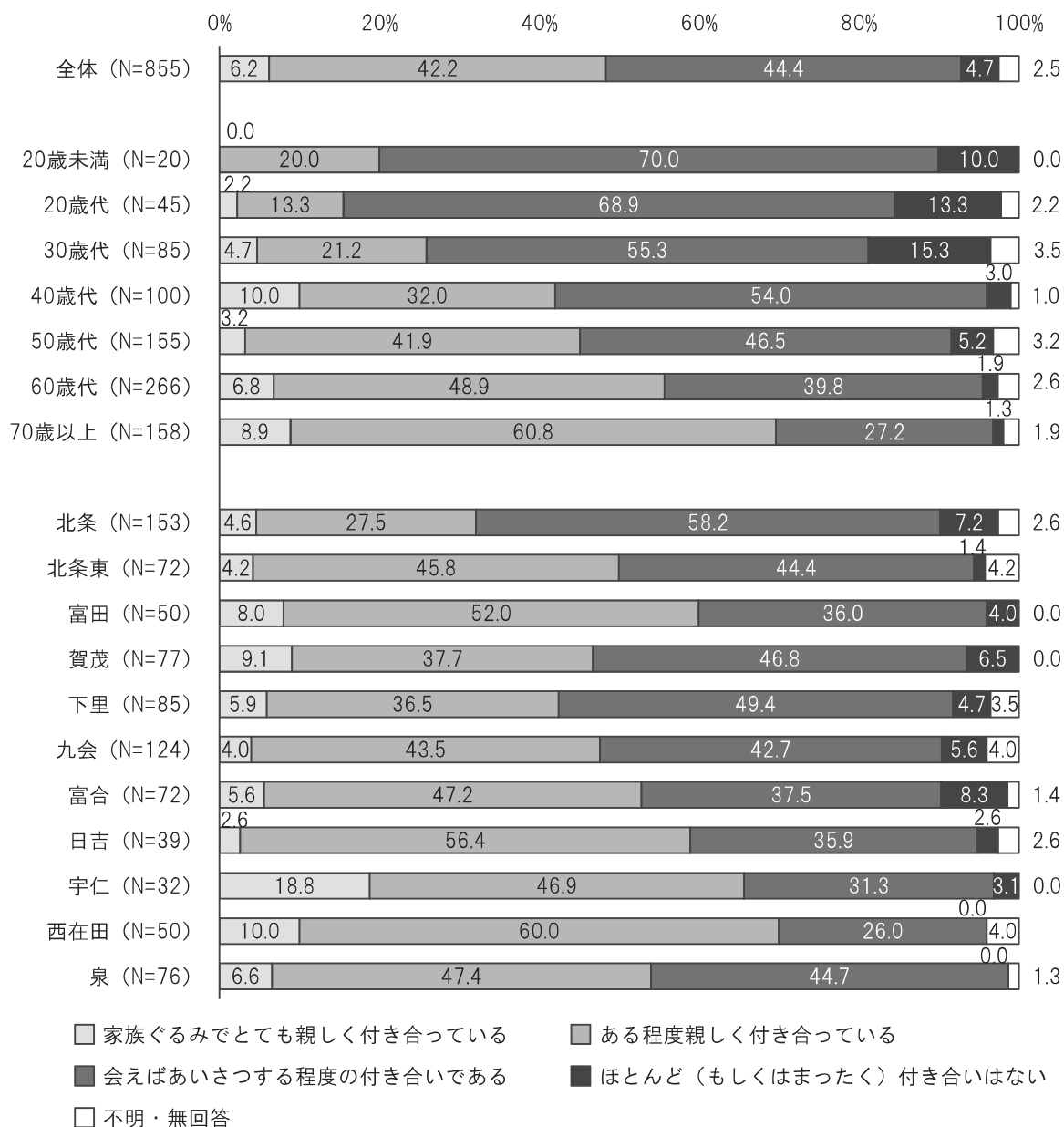
◎隣近所とのかかわりについて

▼普段の近所付き合いの程度

近所付き合いの程度については、全体では「会えばあいさつする程度の付き合いである」が44.4%で最も高くなっています。

年齢別で見ると、若年層ほど「会えばあいさつする程度の付き合いである」が高くなっています。

また、小学校区別で見ると、【宇仁】や【西在田】において『親しく付き合っている』（「家族ぐるみでとても親しく付き合っている」と「ある程度親しく付き合っている」の合算）が高くなっています。

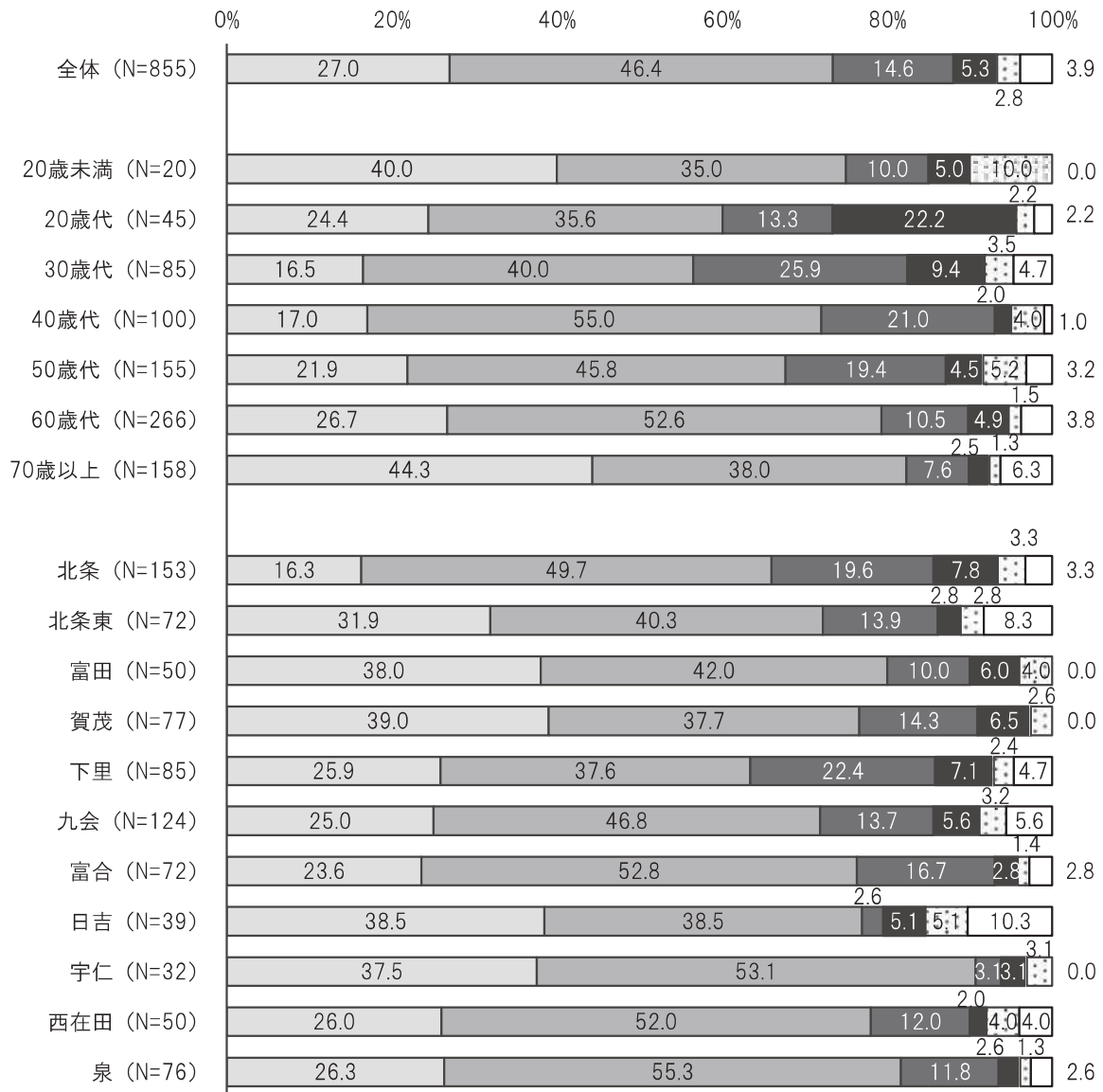


▼近所付き合いに対する考え方

近所付き合いに対する考え方については、全体では「わずらわしく感じることもあるが、日常生活の中で助けられることが多いので必要である」が46.4%で最も高くなっています。

年齢別でみると、20歳代において「なくても困らないので、したくない」、30～50歳代において「わずらわしく感じる人が多いので、あまりしたくない」が高くなっています。

また、小学校区別でみると、【富田】や【賀茂】、【日吉】や【宇仁】において「親しく相談したり助け合ったりするのは当然である」が高くなっています。

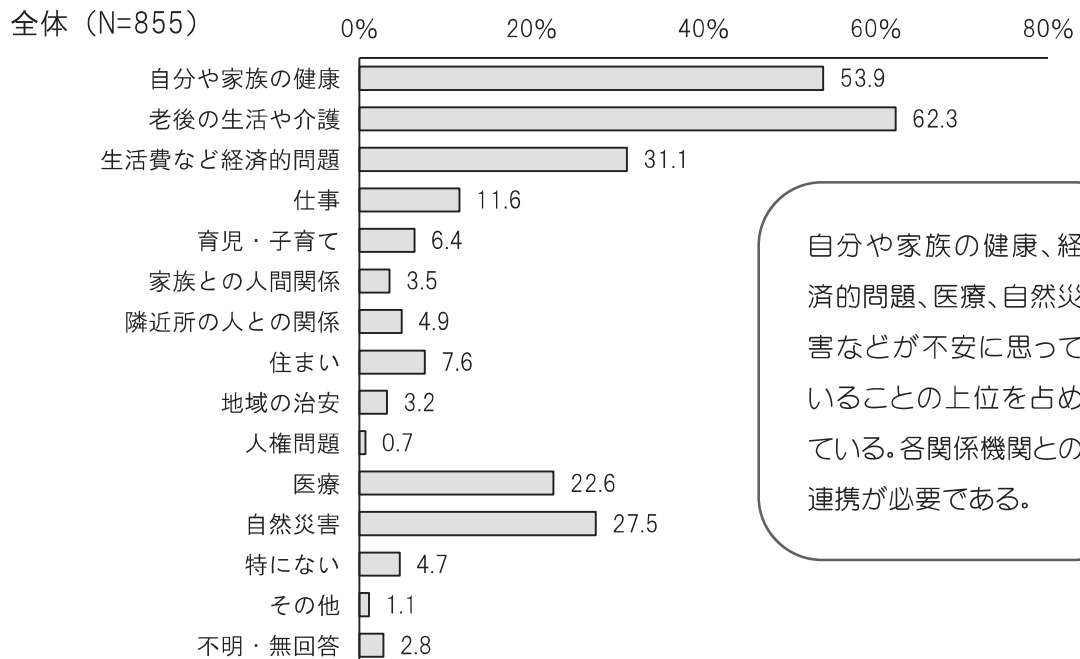


- 親しく相談したり助け合ったりするのは当然である
- わずらわしく感じることもあるが、日常生活の中で助けられることが多いので必要である
- わずらわしく感じる人が多いので、あまりしたくない
- なくても困らないので、したくない
- その他
- 不明・無回答

◎地域の中での暮らしについて

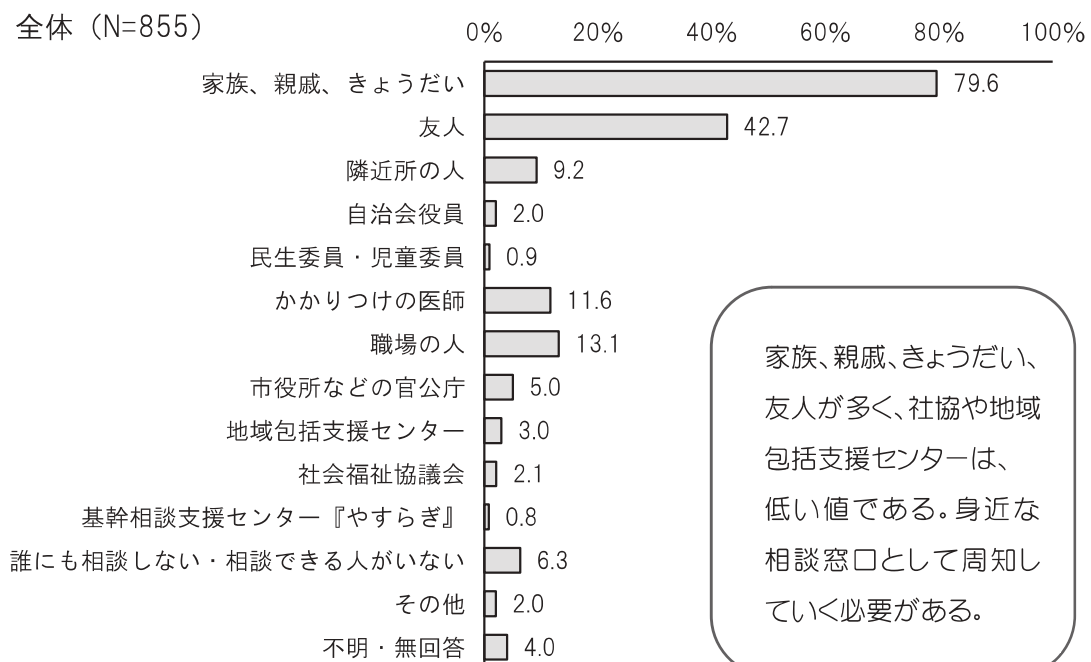
▼普段の生活のなかで不安に思っていること

普段の生活のなかで不安に思っていることについては、「老後の生活や介護」が62.3%で最も高く、次いで「自分や家族の健康」が53.9%、「生活費など経済的問題」が31.1%となっています。



▼不安や悩みの相談先

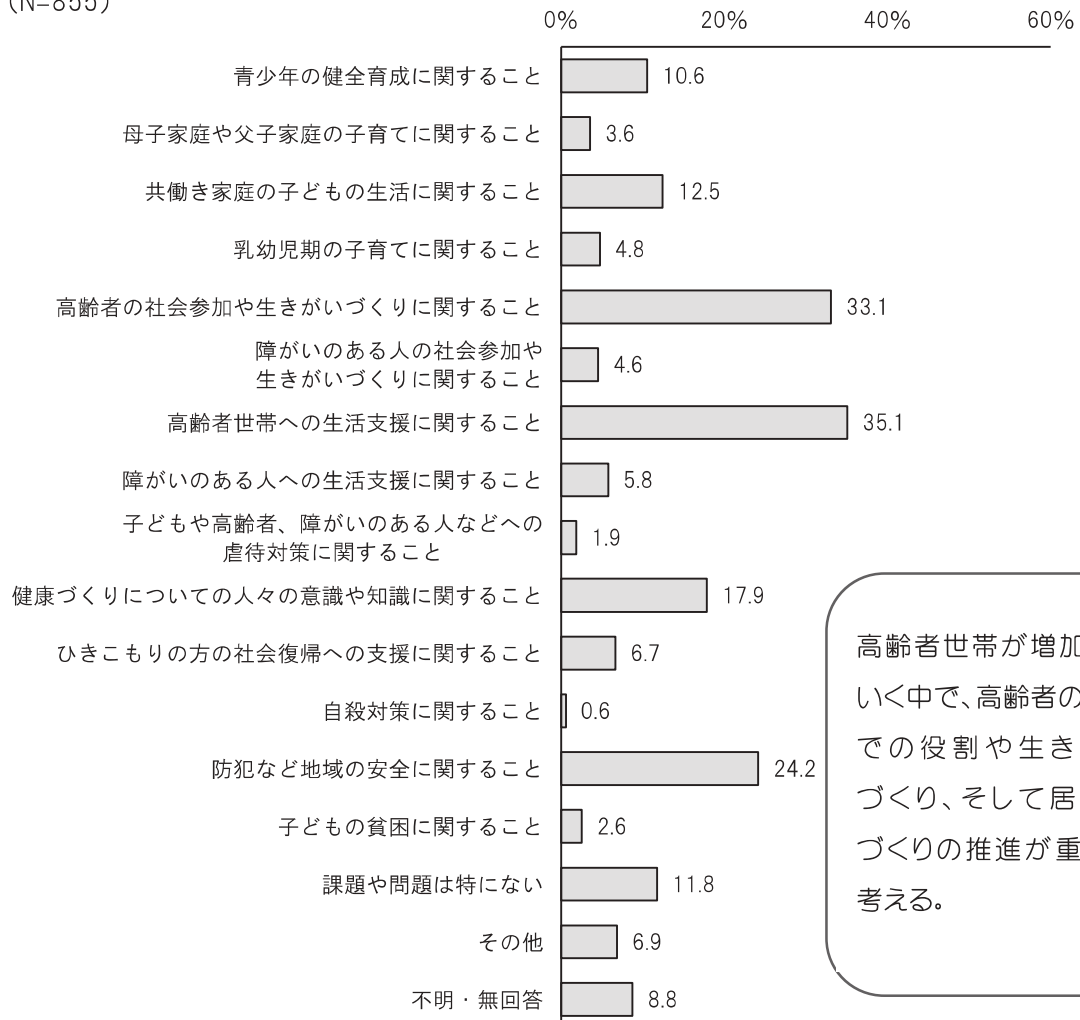
不安や悩みの相談先については、「家族、親戚、きょうだい」が79.6%で最も高く、次いで「友人」が42.7%、「職場の人」が13.1%となっています。



▼地域の課題や問題

居住地域における課題や問題については、「高齢者世帯への生活支援に関すること」が 35.1% で最も高く、次いで「高齢者の社会参加や生きがいづくりに関すること」が 33.1%、「防犯など地域の安全に関すること」が 24.2%となっています。

全体 (N=855)

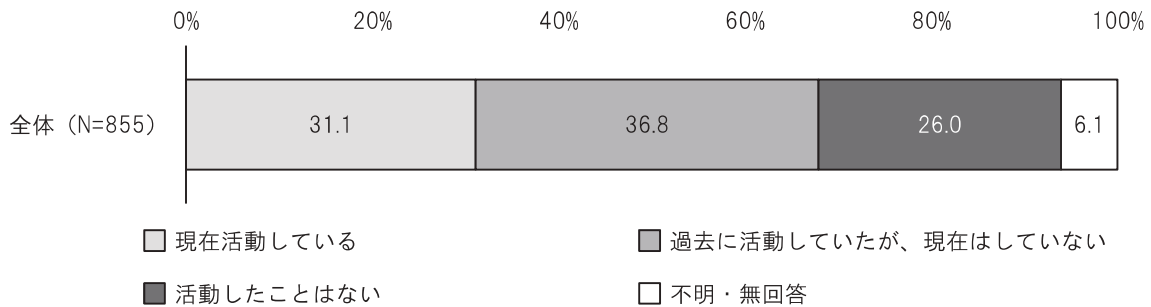


高齢者世帯が増加していく中で、高齢者の地域での役割や生きがいづくり、そして居場所づくりの推進が重要と考える。

◎地域活動・ボランティア活動について

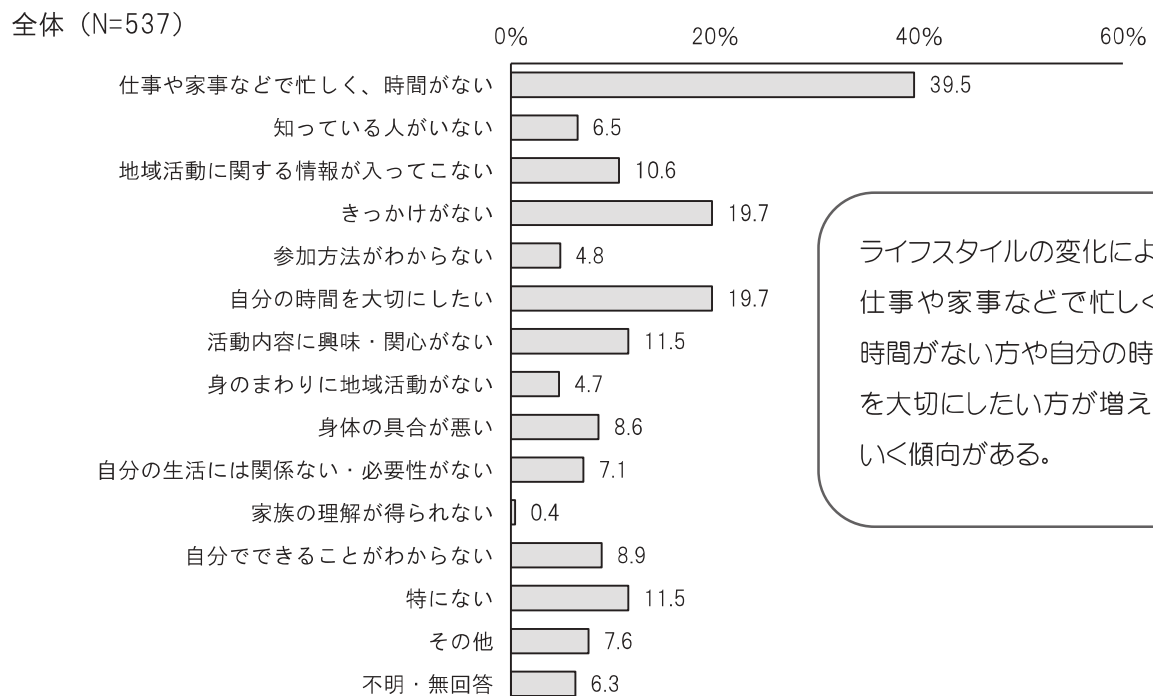
▼自治会やPTA 活動など地域活動の経験の有無

自治会やPTA 活動など地域活動の経験の有無については、「過去に活動していたが、現在はしていない」が36.8%で最も高く、次いで「現在活動している」が31.1%、「活動したことはない」が26.0%となっています。



▼地域活動をしていない理由

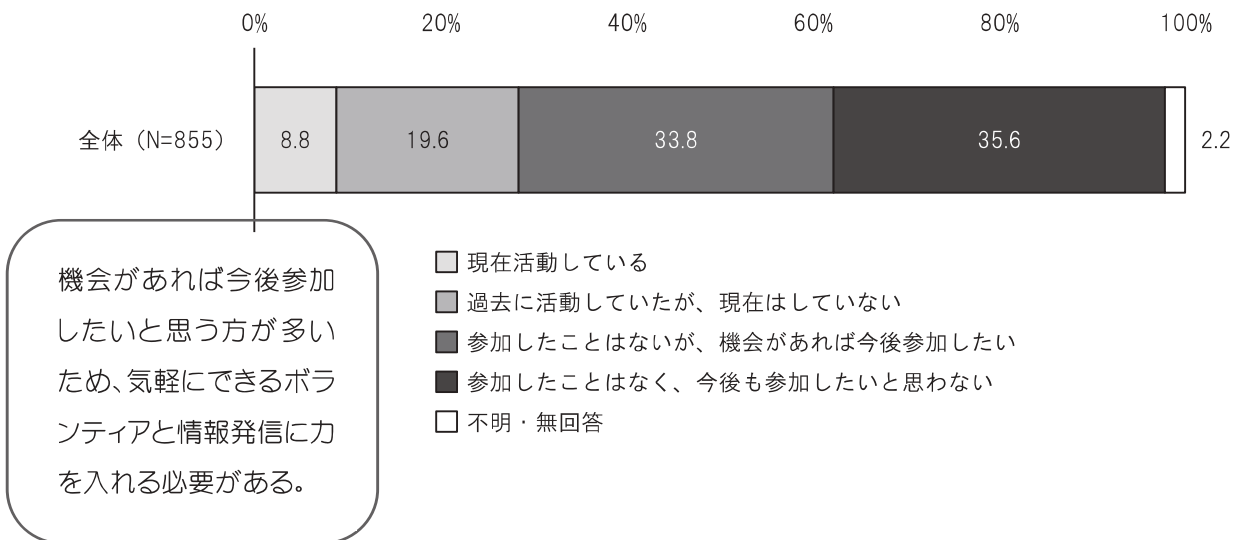
地域活動をしていない理由については、「仕事や家事などで忙しく、時間がない」が39.5%で最も高く、次いで「きっかけがない」「自分の時間を大切にしたい」がそれぞれ19.7%、「活動内容に興味・関心がない」が11.5%となっています。



ライフスタイルの変化により
仕事や家事などで忙しく、
時間がない方や自分の時間
を大切にしたい方が増えて
いく傾向がある。

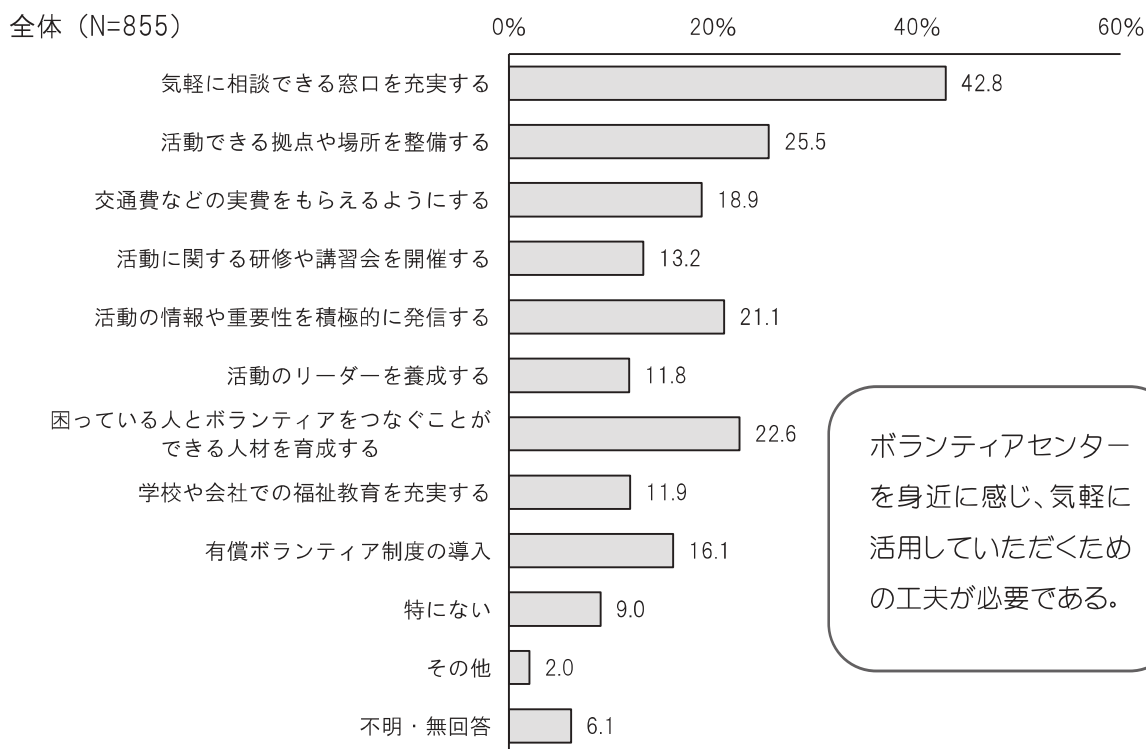
▼ボランティア活動の経験の有無

ボランティア活動の経験の有無については、「参加したことはなく、今後も参加したいと思わない」が35.6%で最も高く、次いで「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」が33.8%、「過去に活動していたが、現在はしていない」が19.6%となっています。



▼ボランティア活動の輪を広げていくために必要なこと

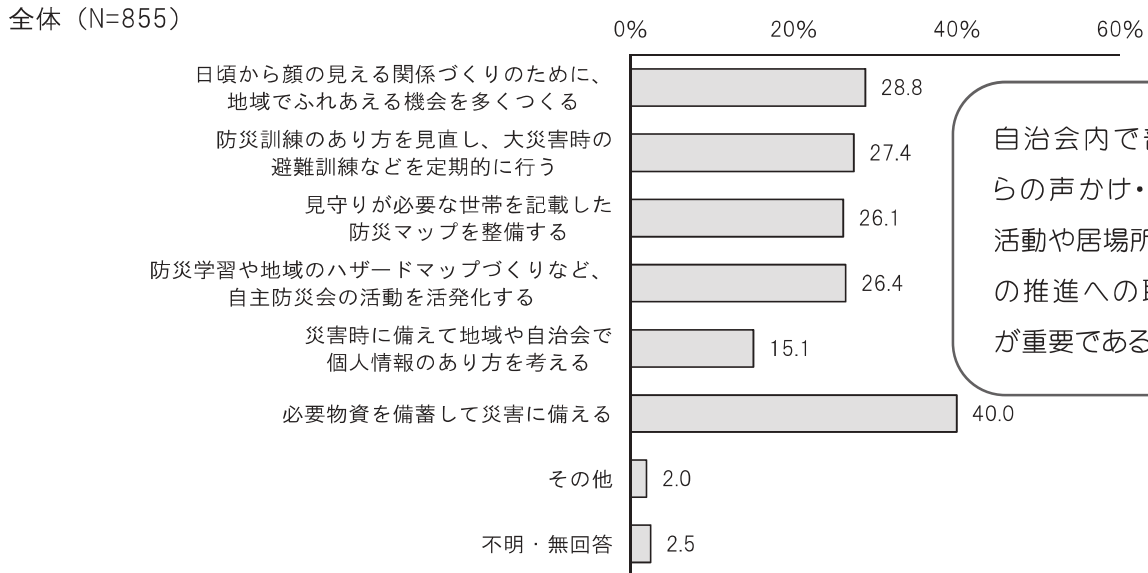
ボランティア活動の輪を広げていくために必要なことについては、「気軽に相談できる窓口を充実する」が42.8%で最も高く、次いで「活動できる拠点や場所を整備する」が25.5%、「困っている人とボランティアをつなぐことができる人材を育成する」が22.6%となっています。



◎災害対策について

▼災害に備えて地域でできること

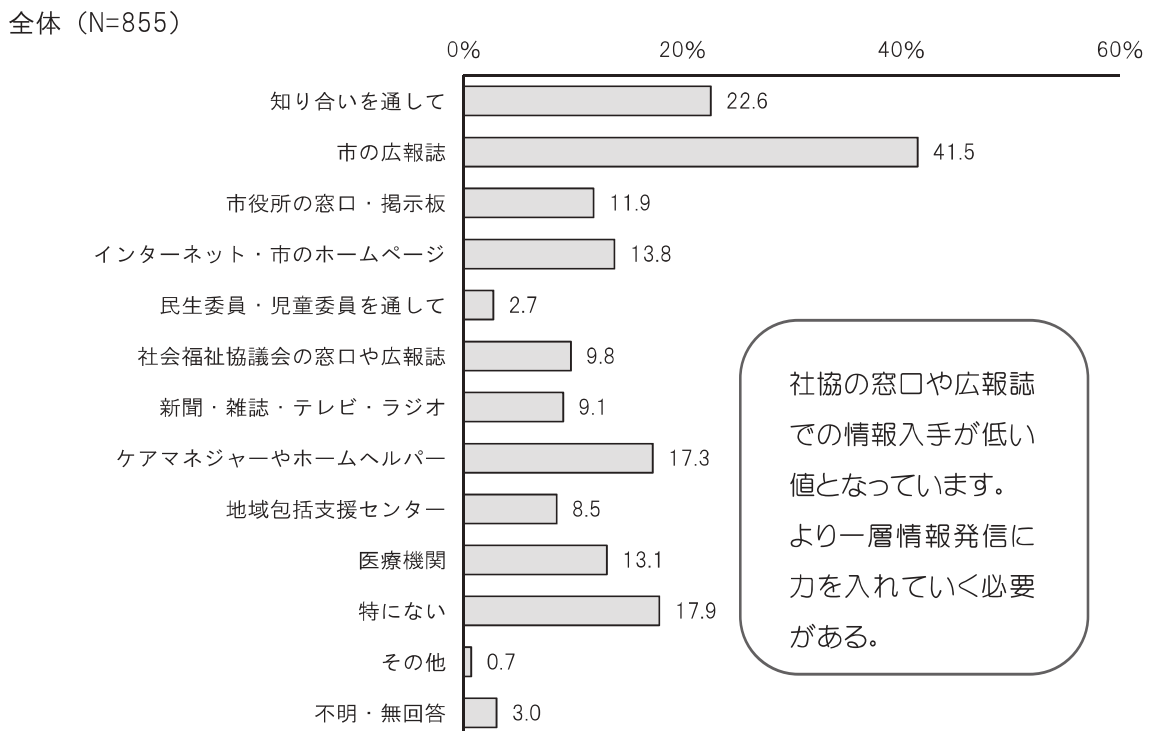
災害に備えて地域でできることについては、「必要物資を備蓄して災害に備える」が40.0%で最も高く、次いで「日頃から顔の見える関係づくりのために、地域でふれあえる機会を多くつくる」が28.8%、「防災訓練のあり方を見直し、大災害時の避難訓練などを定期的に行う」が27.4%となっています。



◎福祉サービスに関する情報の入手について

▼福祉サービスに関する情報の入手先

福祉サービスに関する情報の入手先については、「市の広報誌」が41.5%で最も高く、次いで「知り合いを通して」が22.6%、「ケアマネジャーやホームヘルパー」が17.3%となっています。



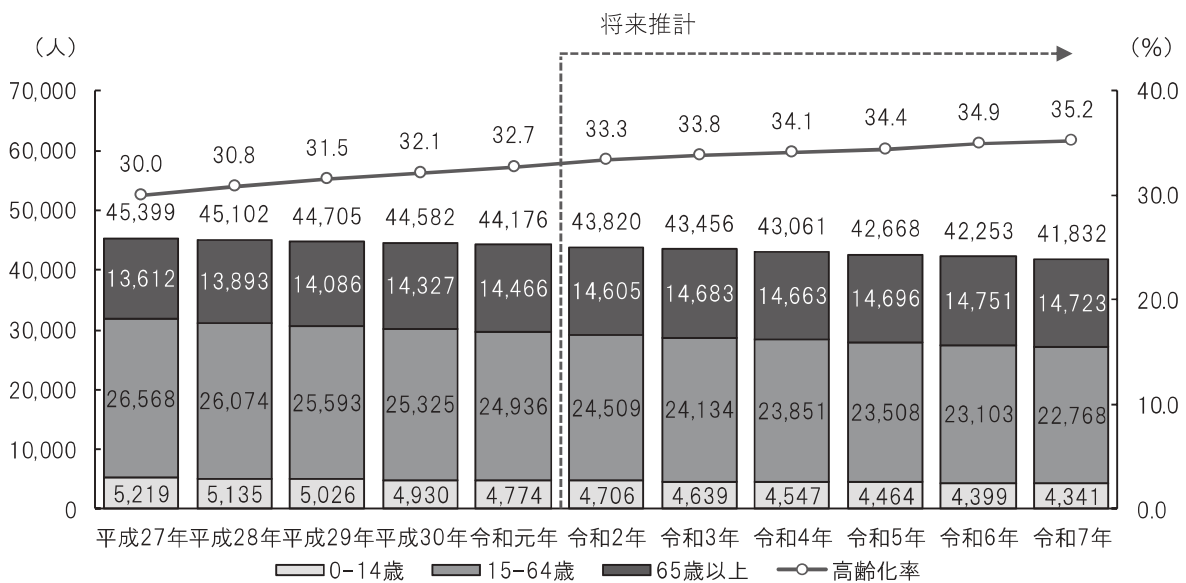
統計データによる加西市の現状

(1) 総人口の推移と将来推計

本市の総人口は減少傾向で推移しており、令和元年9月末時点で44,176人となっています。0-14歳人口及び15-64歳人口が減少する一方で65歳以上人口は増加傾向にあり、高齢化率も並行して上昇しています。今後も現在の傾向が続く見込みであり、計画最終年となる令和7年時点での高齢化率は35.2%となる予想です。

なお、平成27年では高齢者1人を現役世代（15-64歳）1.95人で支えていましたが、令和元年時点では1.72人、令和7年時点では1.55人で支えていく見込みとなっています。

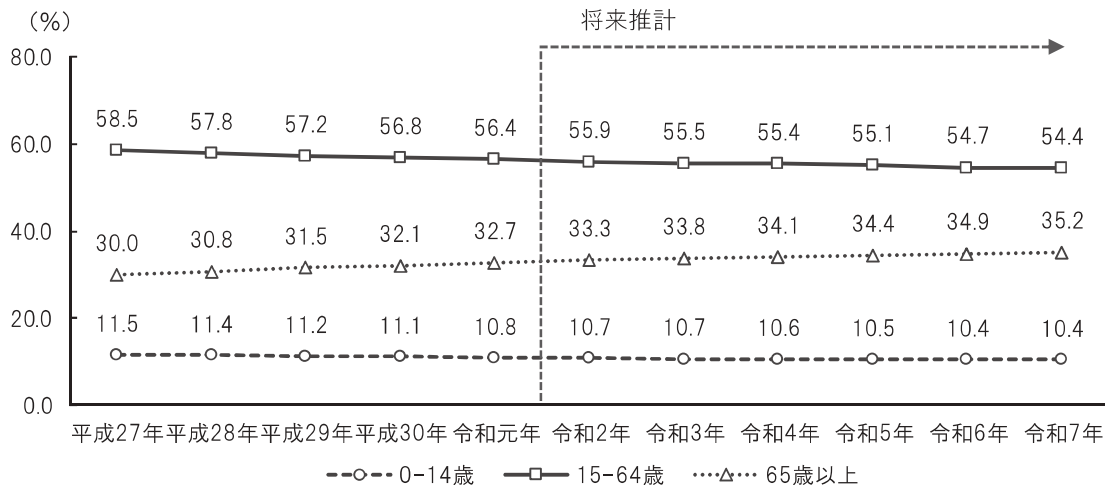
▼住民基本台帳に基づく総人口の推移と将来推計



資料：加西市住民基本台帳（各年9月末時点）

※将来推計部分は住民基本台帳人口をもとにコーホート変化率法で推計

▼年齢3区分別人口の総人口に占める割合



資料：加西市住民基本台帳（各年9月末時点）

※将来推計部分は住民基本台帳人口をもとにコーホート変化率法で推計

(2) 地区別の人口動向

地区別の総人口についてみると、令和元年時点で北条小学校区が7,610人で最も多く、次いで九会小学校区が6,178人、北条東小学校区が6,014人となっています。

平成27年から令和元年までの5年間における増減率についてみると、北条東小学校区が増加傾向となっている一方で、それ以外の小学校区は減少傾向となっています。

▼市内各小学校区及び中学校区の総人口の推移

資料：加西市住民基本台帳（各年9月末時点）

単位：人

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	増減率※
北条小学校区	8,029	7,413	7,399	7,545	7,610	94.8%
北条東小学校区	5,024	5,674	5,727	5,883	6,014	119.7%
富田小学校区	3,184	3,139	3,105	3,067	3,002	94.3%
北条中学校区	16,237	16,226	16,231	16,495	16,626	102.4%
賀茂小学校区	3,348	3,306	3,268	3,240	3,158	94.3%
下里小学校区	4,858	4,858	4,773	4,718	4,606	94.8%
善防中学校区	8,206	8,164	8,041	7,958	7,764	94.6%
九会小学校区	6,451	6,378	6,317	6,260	6,178	95.8%
富合小学校区	3,899	3,875	3,826	3,782	3,698	94.8%
加西中学校区	10,350	10,253	10,143	10,042	9,876	95.4%
日吉小学校区	2,755	2,709	2,673	2,623	2,576	93.5%
宇仁小学校区	1,703	1,682	1,647	1,619	1,593	93.5%
西在田小学校区	2,208	2,183	2,112	2,050	2,024	91.7%
泉小学校区	3,940	3,885	3,858	3,795	3,717	94.3%
泉中学校区	10,606	10,459	10,290	10,087	9,910	93.4%
市全体	45,399	45,102	44,705	44,582	44,176	97.3%

(3) 各校区の高齢化率

(令和2年2月末時点)

北条校区	25.67%	九会校区	33.02%	西在田校区	37.84%
富田校区	37.12%	富合校区	36.54%	在田校区	36.32%
賀茂校区	40.10%	日吉校区	37.42%		
下里校区	35.73%	宇仁校区	39.14%		

地域に見える化シート調査結果 (平成30年度～令和元年度)

加西市社会福祉協議会では、各町の自治会長等に「地域に見える化シート」の作成を依頼しました。全15項目のうち地域の生活・福祉課題を集約し、策定委員会で話し合いを重ね、計画の土台づくりをしました。

キーワード	課題
交流の場 (サロンなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・閉じこもりがちな高齢者に来てもらえない ・男性の参加率が低い ・若い人の参加が少ない ・定期的に集う場がまだない
移動手段	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停はあるが遠い ・車がなければどこにも行けない ・高齢者の車の運転が心配 ・高齢者の移動手段がない ・免許返納後の移動手段 ・買い物や病院に行くのに困る
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人や子供の数が減少し、行事をしても参加が少ない ・各世代間の交流が断片的である ・以前あった婦人会などの団体が減少
地域の担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の活動に関しての担い手不足・後継者不足 ・役員の担い手不足 ・若者の地域活動への参加が少ない
空き家	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の増加 ・管理不全の空き屋対策 ・空き家周辺の地域住環境の整備
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・獣害の増加 ・放棄田の増加 ・山・川・池の管理
防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道・横断歩道・街頭の増設 ・川沿いの水害が心配 ・災害の少ない地域のため防災意識は希薄
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の増加に伴う見守り ・一人暮らし・高齢者世帯の増加 ・介護問題 ・認知症高齢者の増加
外国人	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人とのコミュニケーション

加西市のことを考えてみよう

加西市社会福祉協議会では、社協職員を対象に「気になるところ・気になる人」「こんなところにしたい！」についてアンケートを調査を行い、結果をまとめ計画の土台づくりをしました。

キーワード	気になるところ・気になる人
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代は近隣の方と出会う機会がない ・自ら他者に助けて欲しいと発信できない人がある ・地域コミュニティに属してない人がある ・高齢者のみの世帯が多くなっている ・周囲から孤立している人、SOSが出せない人 ・役員の担い手不足 ・地域の行事に参加しない・出来ない人 ・家に閉じこもっている人 ・親戚との付き合いがない人
若い世代	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長に不安がある保護者 ・子育て中の核家族 ・未来を担う子どもが少ない ・若い世代のひきこもり ・若い世代の市外への流出
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの今後の育成 ・ボランティア活動をしている人 ・ボランティア活動の情報発信
外国人	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の外国人とのコミュニケーション ・外国人と市民との交流の場 ・外国人労働者
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・停留所までが遠いので自力で買い物に行けない人 ・交通の便が悪く車がないと生活できない人 ・バス停を増やして欲しいと思う人が多い
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・空き屋が多く荒れ地が目立つところ ・女性の活躍する場 ・ニーズに合った福祉サービスの開発 ・行動力のある人の活躍 ・地域で活躍されている人 ・災害時の行動を意識しての見守り ・医療機関の今後 ・街灯や歩道の整備 ・介護問題 ・認知症高齢者の増加

キーワード	こんなところになりたい！
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・市外・町外から来た人が馴染めるまち ・顔見知りが増え、笑顔で楽しくふれあうまち ・若い人が集まりたくなるまち ・若い世代も高齢者も活気あるまち ・この地域に住んでよかったと思えるまち ・地域で助け合いの輪が広がるまち ・ライフスタイル・個々の価値観は自由だが、困った時はつながるまち ・新しいことも取り入れ活性化するまち ・高齢者が輝けるまち
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアが活躍できるまち ・若い世代から助け合いのところが育つまち
外国人	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人が住みやすいまち ・外国人との交流ができる居場所づくり
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関が充実し、自由に通院や買い物ができるまち ・自分たちのことは自分の地域で助け合えるまち
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍のまち ・障がい福祉サービスが充実し、障がい者にやさしいまち ・障がいがあってもお互い理解しあえて住めるまち ・医療と福祉の充実と連携できるまち ・子どもが住みやすいまち（遊べる施設・イベントの充実） ・住み慣れた自然いっぱいの加西で子育てしやすいまち ・若者から高齢者まで安心して働けるまち ・若者が帰ってきたいと思えるまち ・災害時にも助け合えるまち ・関係機関がつながり合うまち

第7次地域福祉推進計画 第2回策定委員会(令和元年11月11日)

【第1部会の意見】「こうあればいいなと思うこと」「これから取り組みそうなこと」

地域について

- 横のつながりが薄くなっている
- 世代交流・多世代が参加できるいろんなジャンルを含めた活動ができればいいな
(魅力ある活動・みんなが楽しめる活動や場)
- そうなれば…継続になるのでは？発信の機会も必要
- 公民館の活用について
ふらっと立ち寄れてしゃべれる場所があることも大切。そんな場所があったらいいな
- 隣保のつながりの強化
隣保長の呼びかけには力を入れて耳を傾けてくれる方もいる
- 福祉について1人1人の意識は高い。何かあったら隣保で対応するという地域も多い
→隣保のつながりが大切
- 男性が活躍できる場の促進(サロンなど)

その一方で…

- 話す機会が地域の中で少なくなってきた。あまり話をしない者同士だと、いざという時にサポートする方法(声かけの方法など)がわからない
- 子どもの減少、人口の減少がみられ、地域によってはどこの誰かがわからない
- 横長の町ではあれは誰やろうということもあるので、そうならない地域づくりが大切
- 災害に対する加西市民の意識は低い
→災害訓練などが地域でもっと実施できたらいいな
たとえば、寸劇に地域住民の協力を得ながら、見守り・支え合いについて考える
- 子ども・若者・高齢者・障がい者が一緒にやる機会があれば、いざというときに自分たちにできることを知る機会になるのでは
- なかなか活動への一歩が踏み出せない人への支援がもっとあったらいいな
→どんな地域活動があるか、どんなボランティアがあるか、どんな行事があるか知れる機会が必要

障がい者(児)について

- 現在、障がいの子どもの把握が困難になってきた
組織(団体)として把握できてない方もいるので、災害時への不安は多い
団体やネットワーク等についてはイベントなどを開催し、顔見知りになる機会を増やしている。グループには関わっているが壁があり、分離されている。今は情報をインターネットで得られるが、いざという時に本当に困るのは、人同士でつながっていない本人とその家族なので、横のつながりづくりをしていきたい

就学前の子どもについて

- こども園でも一時預かりの希望が多い→子育て世代にもっと優しい加西市になればいい
 - (園同士のつながりも含めて)地域とのつながり方がわからない
 - 小さい頃から高齢者・障がい者とつながる必要はある
- そんな場がたくさんあったらいいな
- いろんなイベントに参加するだけで本当に「つながる」やり方がわからない)
- つながり合いの方法の強化が必要(情報のつながり)

ボランティアについて

- 仕事世代は難しい。退職者をいかに活動に巻き込むかも考える必要がある
 - 支援をする側(ボランティアや地域活動をする側)のマナーの育成が必要
- ボランティアをする人は〇〇だという概念崩しをして、誰もが受け入れられればいいな
- ボランティアとはという心の教育が必要⇒思いやりの心を育むことが大切



「地域づくり」「障がい者」
「子ども」「ボランティア」
等をテーマに話し合い



策定委員会の様子。各団体の立場で
活発な意見交換



「福祉サービス」「福祉学習」
「共同募金」「制度の問題」
「総合相談」「関係機関との
連携」等をテーマに話し合い

【第2部会の意見】「こうあればいいなと思うこと」「これから取り組みそうなこと」

高齢者に向けてのサービスについて

- 交通手段の確保の問題
- 他者とのふれあいや誰かの役に立つことが生きる意欲につながっていく
- いつまでも住み慣れた地域で生活できるためのお手伝い
- 生活支援サービス、買い物支援、金銭管理などすでに社会福祉協議会で取り組まれているサービスもあるが、利用者にとって気軽に利用できるサービスであってほしい

福祉学習について

- 認知症などの福祉学習については、子どもや企業などへの参加により、周知がさらに広がるのではないかと
- 子どもの頃からの意識

共同募金について

- 共同募金に関しては、市民や学校等によっても温度差がある。今後の活動においては、市民の共同募金に関する気持ちの変化も理解する必要があるのではないかと。「善意」だけではやっていけない時代になっているかもしれない。「配分金」のPRも具体的にを行う必要がある。共同募金の在り方について今後検討が必要

総合相談について

- 総合相談窓口の統一の必要があるのではないかと。「どこへ相談すれば良いか？」市民は実際分からない。市役所でいうインフォメーションのような総合案内係がいるとわかりやすい。福祉会館=市？というイメージあり。福祉会館まで来て相談できる人はまだいいが、相談できない人への周知をどのようにするか？
- 相談窓口の専門職のレベルについて。その場で判断できない職員や、対応によってはたらい回しの弊害あり。専門職の資質向上が必要ではないかと
- 一方では、専門職不足によりサービスの不足が課題である
- 地域包括支援センターの周知について、サロン参加者には周知できるが、サロンにも参加できないような、支援が本当に必要な人への周知をどのようにするか？
- 民生委員でもどこへ相談すればいいのかわからないことがある
- 総合相談は地域包括支援センターの役割である。総合相談窓口の役割が果たせるようにしてほしい

制度の問題について

- 相談から解決までに時間がかかりすぎることがある。介護保険の申請をしても、1ヶ月2ヶ月かかると言われる。今、困っているのにその期間待てないこともある。対象者の立場に立って、制度を考える必要があるのではないか
- 介護者を抱えた家族にとって、本当に在宅が好ましいのか？
在宅生活を続けるために退職し、経済的に苦しくなることもある
施設に預けられるのであれば、預けられる方がいいこともある
刑務所出所者等の社会復帰支援について→保護司会の協力

関係機関との連携について

- 他機関とのつながる場づくり(福祉、教育、医療分野等多職種他機関での交流会)等行うことで、今後の連携がスムーズに行えるのではないか。(現場では日頃の業務に追われ、他分野との連携が必要なことは分かっているがなかなか余裕がない)

いつまでも住み慣れた地域で暮らすために

- 地域包括ケアシステムの周知について(住民は知らない人が多い)
- 「自分たちで支え合える体制づくり、自分たちの地域のことは自分たちで考える」という意識を、住民自身も持つ必要がある
- 居場所づくり(子ども、障がい、高齢者など、対象者を限定しない集いの場)
- 消防団の活用(より意義ある活動に。自分たちの町が抱える問題や課題などを共有、考える機会とする)
- 自分の興味のあることだけしか関心がない人もいる
- 自分たちの地域の行事への関心が減っている
- 子どものころからの教育の必要性、参加することの大切さを伝える必要がある
- 子育て中の母親の休息、子ども同士の交流、ひきこもり、不登校予防として遊びの場の提供
- 障がい児の親自身に遠慮あり、PTA活動や地域の活動に参加しにくい現状がある

◆これから取り組みそうなこと

- 断らない相談・フードバンク
- 買い物行こか〜(移動支援)の企画を実施したい
- お弁当配達や、家事のちょっとしたお手伝いを有償で実施する
- 住民として、近所の方へ買い物などちょっとした声かけはできる
- 社協として、「何ができるか？」を考える必要がある
- 住民にとって良い情報も、不利な情報も、正確な情報をきちんと伝えることの大切さ
- あったか班の充実、あったか班のつながる仕掛けづくり
- 情報提供、情報発信の方法(若者世代への情報発信の工夫、SNSの活用など)
- 総合相談窓口については、窓口に分かりやすい看板を設置

加西市ボランティア・市民活動センター登録グループ一覧

R3.1現在

No.	グループ名	活動内容	構成人数
1	花水木(月曜日、第1週)	給食サービス利用者のお弁当調理	9
2	すみれ(月曜日、第2週)	給食サービス利用者のお弁当調理	7
3	菜の花(月曜日、第3週)	給食サービス利用者のお弁当調理	8
4	サルビア(月曜日、第4週)	給食サービス利用者のお弁当調理	6
5	ハピネス(水曜日、第1週)	給食サービス利用者のお弁当調理	7
6	パンプキン(水曜日、第2週)	給食サービス利用者のお弁当調理	6
7	プチトマト(水曜日、第3週)	給食サービス利用者のお弁当調理	7
8	スマイル(水曜日、第4週)	給食サービス利用者のお弁当調理	10
9	リラ(金曜日、第1週)	給食サービス利用者のお弁当調理	8
10	チューリップ(金曜日、第2週)	給食サービス利用者のお弁当調理	8
11	トマト(金曜日、第3週)	給食サービス利用者のお弁当調理	8
12	根日女(金曜日、第4週)	給食サービス利用者のお弁当調理	7
13	なでしこ(火曜日)	給食サービス利用者のお弁当調理	16
14	ひまわり(木曜日)	給食サービス利用者のお弁当調理	20
15	給食サービス配達グループ	給食サービス利用者のお弁当配達	18
16	あたたか弁当配達ボランティアグループ	給食サービス利用者のお弁当配達	14
17	「お弁当宅配」ボランティアグループ	給食サービス利用者のお弁当配達	17
18	手作り弁当配達ボランティアグループ	給食サービス利用者のお弁当配達	12
19	まごころ弁当宅配ボランティアグループ	給食サービス利用者のお弁当配達	22
20	介護用品製作グループ「たんぽぽの会」	アイデア介護用品の作成(葉かんざしなど)	12
21	明るい社会づくり運動加西地区協議会	社会奉仕活動を通じて明るい社会運動推進	45
22	点字グループ「あいうえお」	点字、点訳の学習、児童本、暦の点訳	8
23	加西手話サークル「どんぐり」	聴覚障がい者への理解と手話の普及活動	24
24	「加西の里」デイサービス施設ボランティア	話し相手、見守りを中心とした活動	7
25	加西の里ホーム施設ボランティアグループ(すず虫の会)	おむつたたみや洗濯の整理、施設の清掃	12
26	雅の会	各施設で民謡、舞踊、ミュージックなど芸能訪問	15
27	体験指導(車いす)ボランティアグループ	市内、小中学校及び各種団体の車いす体験指導	16
28	ボランティアサークル「ショコラ」	高齢者等を対象に広報誌・情報紙作成	5
29	朗読ボランティア「かしの実グループ」	視覚障がい者へ市広報や新聞記事をCDに録音し郵送	20
30	加西点字教室	点訳本の作成	13
31	浜本保険株式会社	給食サービス利用者のお弁当配達	15
32	加西聴覚障害者協会	手話の指導(手話通訳者の育成・普及)	14
33	県立北条高等学校	高齢者との交流活動(希望の郷など)	25
34	かさい日本語教室	在住外国人への日本語指導・交流	10
35	加西ジュニアリーダークラブ	子供会やスポーツ少年団等でのレクリエーションリーダー等の育成	20
36	ろごす腹話術研究会ねひめ加西	腹話術で老人ホーム、施設など友愛訪問	22
37	お話の会「ぶらんこ」	絵本の読み聞かせ	7
38	県立播磨農業高等学校	近隣公共施設へ花配布。道路清掃など	17
39	うれしの学園生涯大学加西学友会	施設等の清掃。介護施設への訪問等	76
40	手引きボランティアグループ	市内、小中学校及び各種団体の手引き体験指導	18

41	加西ライオンズクラブ	社会奉仕、青少年健全育成	23
42	桃子野子育て支援ボランティア	富合地区在住の未就学児童の親子を対象にひろば開催	19
43	まちの子育て広場応援団(すくすくひろば)	子育て中の方に対して支援。イベント開催	8
44	子育て支援ボランティアグループ	行事等の託児	7
45	加西西国三十三ヶ所霊場参拝の会	各霊場清掃	4
46	加西市福友会	加西病院でのたれたたみ・車いす整備等	119
47	障がい者ボランティアグループ「ひまわりの会」	各障がい者施設の障がい者との交流・介助	5
48	加西おやこ劇場	子どもが自由に育つような文化づくり	8
49	ボランティアアドバイザー	健康福祉会館にてボランティア相談の開催	10
50	加西市民劇団 おおきな木	子どもから老人までを対象とする演劇披露	11
51	Do-it	障がい者を対象とした事業を実施(ダンス等)	5
52	ねひめくればす	子育てに関する事業について事業提案	5
53	さくらサロンボランティアグループ	精神障がい者が安心して過ごせる居場所づくり	10
54	mamaねひめ	幼児対象に人情劇やハンドベル演奏	11
55	ねひめキャラバンメイト	認知症サポーター養成講座の講師	25
56	輪来の会(WARAI)	お年寄り、障がい者との交流・外出介助	13
57	加西市いずみ会	生活習慣病、母子の健康増進、高齢者の健康生活に関する活動	57
58	播州加西あばれ太鼓愛好会	和太鼓を通じて仲間づくりとコミュニティづくりの推進	20
59	兵庫県退職公務員連盟加西支部	古切手整理、古本整理	37
60	賀茂・下里・九会いきいきリーダークラブ	サロン活動、レクリエーション指導	12
61	富合・多加野・西在田・在田いきいきリーダークラブ	サロン活動、レクリエーション指導	10
62	加西市立善防園保護者の会	善防園における手芸、バザー、作業への協力	56
63	マジック同好会	マジックで余興	11
64	AMIGOS UNIVERSALES	国際交流イベント、語学教室外国人との交流等	40
65	鶉野中町花家族の会	地域の交差点・公園・道路の花の管理	27
66	そばっ呼手打ち会	そば打ちの体験指導	14
67	南京玉すだれ 夢ふくふく	友愛訪問(保育所、幼稚園、老人施設など)	14
68	NPO法人トゥルーカラーズ加西	給食サービス利用者のお弁当配達	9
69	いなみの学園加西校友会	施設の除草・清掃作業、福祉施設での介助	60
70	加西オカリナハーモニー	高齢者施設、各町いきいきサロン、敬老会、夏祭り等での演奏活動	15
71	ウクレレ会	福祉施設へ慰問奉仕・ウクレレ演奏活動	10
72	NPO法人災害ボランティア加西らかん	防災活動・被災地支援等	12
73	MOA加西	学校・市民会館前の花壇の管理・「MOA美術館加西児童作品展」の支援	20
74	播磨蕎麦の会	学校・福祉施設でのそば打ち交流と体験教室。地域振興に貢献	24
75	Jumpメイト	障害のある子とその親を主なメンバーとし、音楽を通して積極性や可能性を引き出す支援	7
76	宮き野グレイプス	ハーモニカの演奏を通じて、地域の方々に和みと安らぎを提供	13
77	イーハトーブ加西	ひきこもり、障がい者の親たちを介護士、看護師、相談員の立場から支援	14
78	一期一笑 子育てラボの会	障がい児の親をメンバーとし、悩みの共有、情報交換や相談、スキルアップに貢献する活動	5
79	baby&MamaサークルClap	妊娠中の方、0歳児の赤ちゃんを育てる母親に対して交流の場を提供	6
80	言葉でつながっていこう会in加西	韓国語語学者を育成し、地域の日韓交流の橋渡し役や互いの交流	6
81	Tommy Coco	子ども・親同士のネットワーク作りやサポートを行い地域社会に貢献(こども食堂運営)	5

第7次地域福祉推進計画策定の経緯

策定委員会

開催日	人数	内 容
R1.8.23	19名	委嘱状の交付 地域の現状や課題等を検討
R1.11.11	21名	各部会(各テーマ毎に検討する) 地域・人づくり(1部会)・組織づくり(2部会) テーマ「こうあればいいなと思うこと・これから取り組みそうなこと」 各テーマのとりまとめ
R1.12.24	21名	体系図、連携・協力できそうなこと
R2.2.17	18名	計画の推進期間変更・体系図・個別活動項目の確認
R2.11.6	20名	最終確認

実務者作業部会(市職員)

開催日	人数	内 容
R1.9.27	9名	第6次推進計画の平成30年度評価の説明 第6次推進計画と重点目標について 制度・施策から行政として社協に望むこと
R1.11.28	8名	検討事項(行政・社協・他団体のすみ分け) 社協活動の現状と課題

社協職員ワーキング会議

開催日	人数	内 容
R1.9.17	7名	社協が策定する地域福祉推進計画とは?こんな加西市したい!を語ろう
R1.10.8	7名	策定委員会・作業部会データ分析 アンケート結果から次へつなぐ
R1.10.24	7名	アンケート等から課題整理 次回策定委員会に向けて
R1.11.20	6名	策定委員会の意見を踏まえ各項目毎に計画の作成等
R1.12.10	6名	作業部会を受けて活動項目の検討 次回の策定委員会に向けて
R2.1.29	5名	体系図内の重点目標について 具体的内容と役割分担について
R2.2.7	6名	評価委員会の意見を踏まえ各項目毎に計画の内容確認及び校正
R2.3.19	7名	策定委員会の意見を踏まえ検討 名称の統一・推進計画の全体
R2.10.2	6名	加西市地域福祉計画との整合性を検討 第4章の編集・構成について

第7次社会福祉法人加西市社会福祉協議会 地域福祉推進計画策定委員会及び評価委員会設置要綱

(名称)

第1条 この委員会は、社会福祉法人加西市社会福祉協議会地域福祉推進計画策定委員会及び評価委員会（以下「委員会」という。）という。

(目的)

第2条 委員会は、住民自治に根ざした地域福祉の実現を目指し、加西市における地域福祉の推進役として、社会福祉法人加西市社会福祉協議会理事長（以下「理事長」という。）の諮問に応え、令和3年度から令和7年度までの5カ年における第7次社会福祉法人加西市社会福祉協議会地域福祉推進計画を策定し評価することを目的に設置する。

(委員の構成)

第3条 委員会は15名以内で組織する。

2 委員の構成は次の各号に掲げるとおりとし、理事長が委嘱する。

- (1) 理事及び評議員のうちから委嘱するもの
- (2) 住民（自治組織及び公募者）
- (3) 専門機関
- (4) 当事者（個人及び団体）
- (5) ボランティア代表
- (6) 社会貢献者（団体及び企業）
- (7) 行政機関代表

(委員の任期)

第4条 委員の任期は委嘱した日から、この計画の評価終了までとする。

2 補欠により就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 2名

2 委員長及び副委員長は委員の互選により選出する。

(職務)

第6条 委員長は委員会を代表し、会務を統括する。

2 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

(会議)

第7条 委員会は、委員長が召集し、会議の議長となる。

2 委員会は、委員総数の過半数の出席がなければ、その議事を開き、議決することができない。

3 委員会の議事は委員総数の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(専門部会の設置)

第8条 委員長が必要と認めた場合は、専門部会を設置することができる。

(意見の聴取等)

第9条 委員会が必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて説明を求め、または意見を聴くことができる。

(庶務)

第10条 委員会に関する庶務は、社会福祉法人加西市社会福祉協議会地域支援室において処理する。

(補則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は委員長が別に定める。

附 則

この要綱は令和元年7月12日から施行する。

附 則

この要綱は令和2年2月17日から施行する。

第7次加西市社会福祉協議会地域福祉推進計画 策定委員及び評価委員名簿

令和2年11月

区 分	氏 名	備 考
社協理事	◎ 後 藤 勇	学識経験者
	福 井 り つ 子	学識経験者
住 民	○ 西 川 利 彦	区長会 代表区長
	○ 下 村 義 明	民生委員児童委員協議会 会長
	松 岡 勝 己	老人クラブ連合会 会長
	笥 和 代	公募委員
	藤 井 智 子	公募委員
	西 井 律 子	公募委員
専 門 機 関	濱 垣 隆 之	基幹相談支援センター「やすらぎ」係長
	小 谷 み どり	善防こども園 主幹保育教諭
当 事 者 (個人及び団体)	野 田 英 紀	加西市手をつなぐ育成会 会長
ボランティア 代 表	小 田 幸 代	ボランティア・市民活動センター (ボランティア運営委員会)
社会貢献者 (団体及び企業)	小松原 綾子	生活協同組合コープこうべ コープ加西店長
行 政 機 関 代 表	西 脇 親	市参事・福祉企画課長
	藤 本 浩 明	長寿介護課長

◎ 委員長

○ 副委員長

加西市社会福祉協議会 第7次地域福祉推進計画
令和3年（2021年）3月発行

社会福祉法人 加西市社会福祉協議会

〒675-2303

兵庫県加西市北条町古坂 1072 番地の 14

TEL/0790-42-8888 FAX/0790-42-6655

<http://www.kasai-syakyo.com>

